

環境報告書 53期
environmental report



目次

目次 / 編集方針	1
ご挨拶	2
会社概要 / 企業理念・スローガン	3
事業概要	4
経営面における取り組み	5
・コンプライアンスとリスク管理への取り組みの現状	5
・トピックス 神戸工場と包装技術開発研究所の開設	5
環境面における取り組み	6
・環境方針	6
・環境マネジメント推進体制	7
・ISO14001 認証取得状況	7
・53期の活動内容	8
・トピックス	9
・53期の実績	10 ~ 18
社会面における取り組み	19
・お客様とのかかわり	19
・従業員とのかかわり	20
・その他ステークホルダーとのかかわり	21
今後の活動について	22

編集方針

株式会社カナエの53期環境報告書は、より多くの方々に弊社の環境保全活動の実態をご理解いただきたいという目的で作成いたしました。

報告書の対象となる事業所は、本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所の4事業所と大宮、高倉)、栃木、愛媛工場の4工場です。

53期の報告書は環境保全活動が中心ですが、社会面における取り組みについても52期に引き続き、さらに記載内容を拡大し、当社の活動を一層、幅広くご紹介させていただきたいと考えています。

今後、CSR報告書の発行を目指し、さらに報告書の充実を目指す所存であります。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

【対象期間】

2007年10月21日～2008年10月20日

【報告書に関するお問合せ先】

株式会社カナエ 経営企画部

Tel:06-6954-7151 FAX:06-6954-7196

ご挨拶

企業が社会の中で存立していくためには、社会との調和が欠かせない要素となっています。

そのため企業は社会に役立つ製品、サービスの提供はもちろん、法規制や自主行動規範の順守、さらに社会的な貢献、外部への情報の積極的な公開等を実施していくことが必須となってきます。

当社はこのような社会的責任を果たすため企業理念を策定し、全社員がその理念に従い、行動しています。

環境に関しては企業理念に掲げていますとおり、「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」をベースに環境に配慮した企業活動を実践しています。

具体的には地球温暖化防止、廃棄物排出量の削減、環境負荷低減情報の提供、環境負荷低減商品の開発等の活動を実施しています。

その中でも廃棄物排出量の削減は包装を生業とする当社にとって最大の課題であると考えます。

当社より排出する廃棄物の削減だけでなく、社会全体の廃棄物排出量を削減していくことが当社に課せられた使命であると認識し、環境に負荷を与えない包装材料、包装機械の提供を行っていく必要性を痛感しています。

今後もこの課題を成し遂げていくため、全社員の知恵と力を結集することが肝要と考えます。

企業の社会的責任が問われ、それを遂行できない企業は社会から淘汰される時代になっています。その意味で今回の環境報告書は前回よりも、環境以外で社会に公表すべき事項の掲載を増加させております。近い将来において「環境報告書」を「CSR報告書」にしていきたいと考えております。

我々、カナエの環境への取り組み、報告書に関しまして引き続き、皆さまからの忌憚のないご意見、ご助言を賜りますようよろしくお願いいたします。



岡本 邦昭
代表取締役社長

会社概要

商 号 株式会社 カナエ
 設 立 昭和31年3月29日
 資 本 金 3億5,381万4,600円
 代 表 取 締 役 岡本邦昭
 従 業 員 数 378名(平成21年4月現在)
 営 業 品 目 包装資材・包装機械の開発販売、包装受託加工、受託製造

本社・支店・営業所・工場所在地

本 社	大阪市旭区高殿4丁目16番11号	TEL: 06(6954)7151
東 京 支 店	東京都中央区八丁堀4丁目11番5号	TEL: 03(5566)4811
名 古 屋 営 業 所	名古屋市北区田幡2丁目5-12	TEL: 052(915)3371
富 山 営 業 所	富山市布瀬町南2丁目10番14	TEL: 076(492)8708
流 通 セ ン タ ー	大阪市城東区今福西6丁目9番27号	TEL: 06(6932)6231
包装技術開発研究所	神戸市中央区港島南町5丁目2番7号	TEL: 078(306)6046
神 戸 工 場	神戸市中央区港島南町5丁目2番7号	TEL: 078(306)6041
栃 木 工 場	栃木県真岡市寺内599-4	TEL: 0285(80)1881
大 宮 工 場	大阪市旭区高殿4丁目15番12号	TEL: 06(6954)7160
愛 媛 工 場	愛媛県四国中央市川滝町下山2326番地の5	TEL: 0896(59)4326

企業理念・スローガン

当社は企業としてのあり方を示す「企業理念」、「スローガン」を制定しています。

企業理念

顧客第一主義に徹する。
 健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する。
 情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する。
 社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする。
 地球環境保全をベースとした企業活動を行う。
 企業の社会的責任を果たしていく。

スローガン

お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる

事業概要

総合包装企業

カナエは総合包装企業として包装に関するあらゆる課題をトータルサポートする、独自のビジネスモデルを構築しています。

3つのチカラで、安心を包む

包装材料、包装加工、包装機械。私たちは、この3つが調和してはじめて「商品」が完成すると考えています。

包装材料メーカーとのネットワークや各種情報の分析・提供力に加えて、研究開発部門、受託包装加工の専用工場を保有しているのはそのためです。

また、カナエエンジニアリング、カナエテクノス、カナエシーエスパックとのグループの強みを生かした連携により、包装へのトータルなアプローチを実現しています。

環境包装への取り組み

企業活動そのものが地球環境問題に直結している私たちにとって「環境包装」への積極的取り組みは使命であると考えています。

カナエでは環境方針を策定し、2002年の関東地区（東京支店、栃木工場）を皮切りに、本社を含む全部門で環境マネジメントシステムを構築、ISO14001の認証を取得しました。さらに「環境包装プロジェクト」を発足して、新たな環境包装製品の研究開発などを積極的に行っています。

1. 包装材料 ～「包む」をコーディネート～

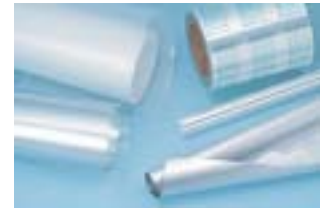
ニーズを多角的に分析し、最適なパッケージをご提案

豊富なケーススタディが身近にあること。包装加工、包装機械を自社で手がけるカナエの強みは、独自のパッケージ対応にも活かされています。

お客様のニーズを軸に、包装材料の設計から包装形態、安全衛生、さらには生産システム適性にいたるまで、包装の全プロセスを多角的に分析、蓄積した情報とノウハウを活かして、最適なパッケージング提案をおこなっています。

また、国内外500社以上のお取引先様とのネットワークにより、多彩な包装材料を安定供給。

オリジナルの新規包装材料・形態の企画提案や、各材料メーカーとの共同開発を通じて、市場にはないユニークなパッケージの創出にも力を注いでいます。



2. 包装加工 ～「包む」をカタチに～

独自のノウハウ技術で商品価値を高める包装加工業務

お客様から委託を受け、包装加工をおこなうコントラクトパッケージング（受託包装）と、最終製品まで仕上げるコントラクトマニファクチャリング（受託製造）。

いずれにおいても、カナエの各種業態許可を得た技術力、品質管理力、生産能力が最大限に活用されています。

分野ごとに独立した包装加工工場を保有し、最新の設備と厳しい品質管理のもと、PTP包装、ストリップ包装、三方・四方シール包装、スティック包装、特殊包装など、多種多様な形態の包装加工に対応しています。



3. 包装機械 ～「包む」をバックアップ～

現場の声と「ものづくり」が直結

「使用する立場、視点」に立った提案が、カナエの包装機械事業の大きな特長です。

包装材料との適性や内容物の特性に加え、使用段階で生じやすい不具合や使い勝手を、包装加工事業での経験・ノウハウに基づいて徹底的に吟味。

機械と包装材料の専門スタッフを交え、加工・包装工程を主体とした製造工程に最適なシステムの企画、設計をおこなっています。

有力包装機メーカーの包装機械の販売とともに、独自に企画・設計した包装機製作にも取り組み、システム・エンジニアにおけるトータルサポートを実現しています。



経営面における取り組み

コンプライアンスとリスク管理への取り組みの現状

当社では、53期より企業理念に「企業の社会的責任を果たす」を追加、また経営基本方針にも「コンプライアンス」を追加し、企業の姿勢を明確にしました。

コンプライアンスでは法令順守だけでなく、各部門で守るべきルールを決め、そして全社で「決められたルールは必ず守る」という風土の醸成を行っています。

また、リスク対応として、ハード面におきましては、関東地区の栃木工場に加え、関西地区の神戸工場が完成し、その体制を整備、またソフト面におきましては「新型インフルエンザ対策」として社内向け、家庭向けのマニュアル、各種備品の整備も進めております。

トピックス

神戸工場と包装技術開発研究所の開設

当社では2008年4月に新たな生産拠点として神戸工場を建設しました。また未来に向けた包装技術の探求の目的で包装技術開発研究所を開設しました。

新たに開設した神戸工場と包装技術開発研究所をご紹介します。

1. 神戸工場 ～未来の包装はここから～ 研究開発型工場

日々高度化するお客様のニーズにお応えするため、医療産業都市構想を展開する神戸市ポートアイランドに、包装に関するカナエ独自のノウハウを集約した新工場を建設しました。

神戸工場は栃木工場とともにカナエの中核となる工場であり、cGMP基準に適合した最新設備を完備し、医薬品・医薬部外品・化粧品の製造許可を取得しています。

また、兵庫県より新産業創造事業として認定されており、建物には太陽光発電システムや屋上緑化を取り入れ、環境に配慮した工場になっています。



2. 包装技術開発研究所 ～包装イノベーションをお客様とともに～ 包装技術開発研究所

未来に先駆けた包装技術を追求するため生まれた「包装技術開発研究所」では、将来的なニーズや市場動向を視野に入れたオリジナルの包装材料・包装形態の開発とともに、お客様との共同開発を推進してまいります。

「内容物の品質を維持したい」「斬新な包装形態で商品化したい」といった課題に対し、調査・分析から包装材料の選定、各種試作機を用いた包装試作までフルサポート。

お客様の新しい価値を創造する研究所として活用していただける体制づくりを進めています。



環境面における取り組み

環境方針

当社の環境に対する考え方を著した文書として「環境方針」を記載します。

環境方針

<環境理念>

当社は、<豊かな自然に恵まれた地球>、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境の保全に努めます。

<行動指針>

- 1) 総合包装企業として包装資材、包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、地球の温暖化、廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じるこうした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

省エネルギーの推進

環境配慮製品の情報提供と開発

廃棄物の削減とリサイクル化の推進

業務効率化等プラス側面への取組み

グリーン購買、調達の推進

上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。

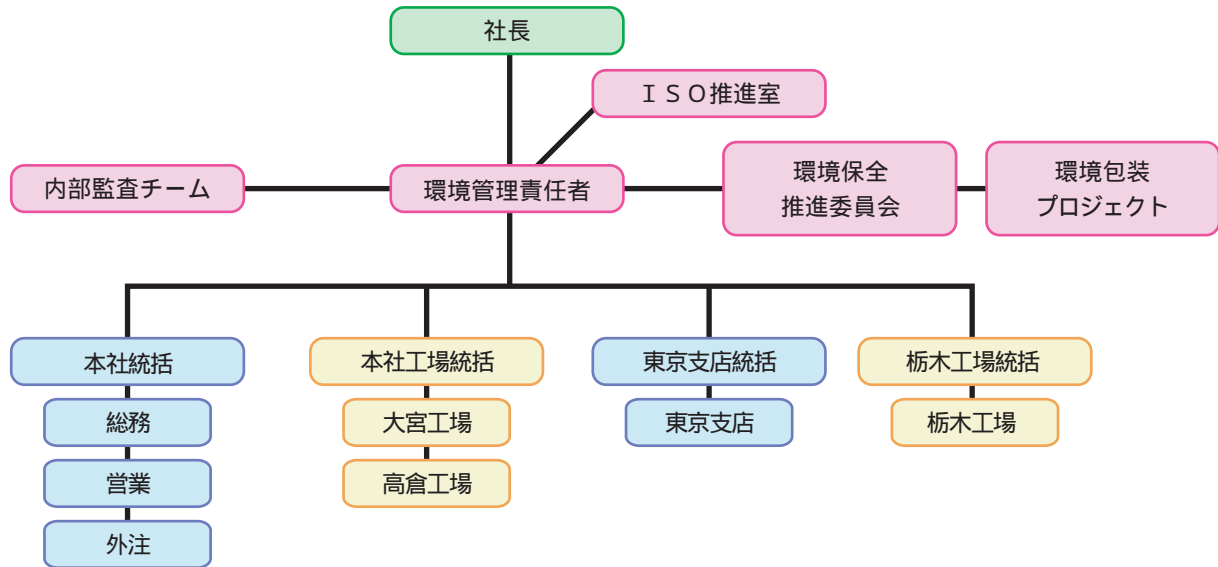
そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

- 2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を遵守します。
- 3) 当社は、この環境方針を全従業員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。
- 4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

環境マネジメント推進体制

環境保全推進組織

株式会社カナエは環境保全推進活動を実施する上でその推進母体となる「環境保全推進組織」を構築しています。



ISO14001 認証取得状況

当社がISO14001 認証取得を目指して活動を開始したのは2001年5月でした。それ以降のISO14001の認証取得の経緯を次にご紹介します。

年月	経緯
2002年 3月	関東地区（東京支店、栃木工場）にて初めて認証取得
2003年 3月	本社部門（関東地区を除く全部門）にて認証取得
2004年 3月	関東地区と本社部門を統合し、株式会社カナエのEMSを構築
2006年 3月	初めての更新審査を受審し、認証継続が承認される。
2009年 2月	2回目の更新審査受審予定



5 3期の活動内容

工場、オフィスの環境保全活動

株式会社カナエの工場、オフィスは5 3期において下記の環境保全活動を実施しました。

部署	環境保全活動
工場	廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境汚染物質管理 2. 廃棄物の削減
	グリーン購入の推進
	プラス側面への取り組み <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械稼働効率の向上 2. 資材収率の向上 3. 作業の合理化
	法規制その他の要求事項の順守 <ol style="list-style-type: none"> 1. 適用される法規制の順守
オフィス	省エネの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 温室効果ガスの排出量削減 2. 使用電力の削減
	廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境汚染物質管理 2. 廃棄物の削減 ・不良在庫金額の削減 ・分別の徹底 ・コピー用紙使用量の削減 ・コンピューター用紙使用量の削減
	環境配慮製品の情報提供と開発 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷低減情報の収集と提供 2. 環境負荷低減商品の開発
	グリーン購入の推進
	環境教育啓発活動の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 社内環境教育の推進 2. 仕入先、委託先の環境保全活動推進のための教育啓発 3. 運送委託車、仕入運送車への環境負荷低減要請(アイドリングストップ等)
	プラス側面への取り組み <ol style="list-style-type: none"> 1. 委託先の資材収率向上
	法規制その他の要求事項の順守 <ol style="list-style-type: none"> 1. 適用される法規制及びステークホルダーからのその他の要求事項の順守

トピックス

温室効果ガス排出量の削減

- ・営業部門では各自がCO₂削減目標を掲げ、目標達成のための手段を設定し削減活動を実施しました。その結果、使用電力量、コピー用紙使用量等が大幅に削減し、おおいに効果をあげました。
- ・栃木工場ではエネルギーをA重油から天然ガスに変更した結果、CO₂排出量が約40%削減しました。

廃棄物排出量の削減

- ・栃木工場ではサーマルリサイクルを採用したことで廃棄物最終処分量が前期に比べ、65%削減という目覚ましい効果を上げました。
- ・営業部門と東京支店では不良在庫金額の削減という活動を3年前から実施していましたが、今期初めて目標を達成しました。前期比78%削減という成果をあげました。

環境家計簿の実施

職場だけでなく、家庭でもCO₂削減を実現していく目的で、今期は管理職を対象に各家庭において環境家計簿を実施しました。

まず、管理職を対象とした環境家計簿勉強会を大阪、東京で3回開催し地球環境の現状、及び環境家計簿を作成するための知識を習得しました。そしてその知識をもとに環境家計簿を1年に渡り、作成しました。

その結果は参加者51名で、目標をクリアした者が14名、前年実績より削減した者が23名という実績となりました。

参加者全員の集計では目標に対し、0.8%削減、前年実績に対しては4.9%の削減という結果になりました。54期もこの活動を継続し、職場のみならず、家庭でのCO₂削減にも力を入れていきたいと考えています。

業務に則したプラス環境側面への取り組み

当社では環境マネジメントシステムを継続して改善していくためには業務に則したプラス環境側面への取り組みが不可欠と考えています。

その手始めとして53期には2つのプラス側面への取り組みを実施しました。

効果はまだ充分とはいえませんが、継続的に改善が可能な活動であるため毎期目標を定め、前進していきたいと考えています。

54期には全部門が最低1つはプラス側面への取り組みができているという状態を目指し、努力していきたいと考えています。

5 3期の実績

活動経過報告

・定期審査

5 3期は前期に引き続き定期審査を受審しました。

その結果、軽微な不適合事項を1点、改善の機会を17点指摘されましたが、当社のEMSが引き続き、ISO14001規格に適合していると判定され、認証の継続が認められました。

・環境保全推進委員会の開催

推進委員会の構成メンバーは環境管理責任者、統括責任者（4名）、ISO推進室室長、ISO推進室事務局の計7名です。

5 3期は2、4、7、8、9月に計5回開催しました。

主な議案は下記の通りです。

開催月	主議案
2月	・ 5 3期1回目内部監査結果の報告
	・ 社内環境啓発セミナー開催に関する打合せ
4月	・ ISO推進組織変更についての打合せ
	・ 環境保全活動優秀部門表彰の対象活動打合せ
	・ 外部定期審査結果報告
	・ 環境家計簿実施状況についての現状報告
7月	・ 新設の神戸工場、包装技術開発研究所のISO活動実施のための準備状況の報告
	・ 環境中期3ヶ年計画案についての協議
	・ カーボンフットプリントについての勉強会
8月	・ 環境中期3ヶ年計画案についての協議
	・ 5 4期全社目標についての協議
	・ 神戸工場の活動に向けての今後の予定と5 4期活動事項案についての協議
	・ 各部門の5 4期に向けての環境影響評価レビューの実施状況報告
9月	・ 各部門の5 4期に向けての環境影響評価レビューの実施状況報告
	・ ISO推進組織変更についての打合せ
	・ 内部監査、外部審査日程についての報告

・部門長会議の開催

5 3期も5 2期に続き、内部コミュニケーションを充実させるため各部門（本社、本社工場、東京支店、栃木工場）において月1回のペースで開催しました。

毎回、部門長、副部門長より実績の報告があり、特に目標が達成できてない活動については出席者よりいろいろな提案がなされ、活動の改善につながりました。

5 3期も有意義な話し合いができました。

・部門会議の開催

部門長と部員のコミュニケーションを図る場となる部門会議も各部門、月1回のペースで開催しました。

依然としてコミュニケーションがスムーズに行われている部門と不十分な部門があり、来期以降も課題を残すこととなりました。

主な活動の実績

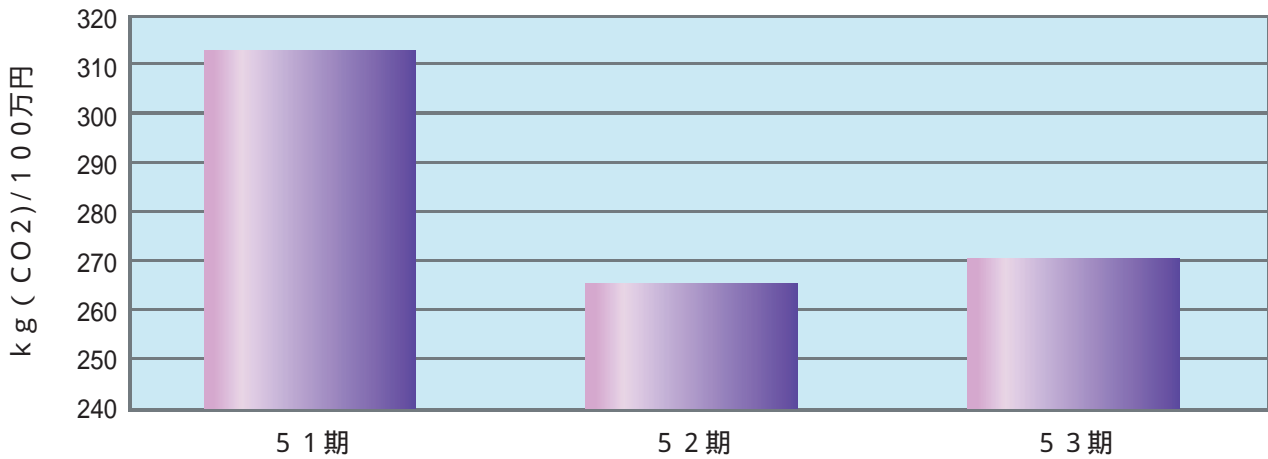
環境面における取り組み

- 1. 電力使用量（工場）

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
5 2 期比 3 % 削減	312.9	265.9	270.6	×
			1.8%増加	

単位：kg (CO2)/100万円（生産額100万円当りの使用電力より発生するCO2排出量）

CO2排出量（電力使用による）

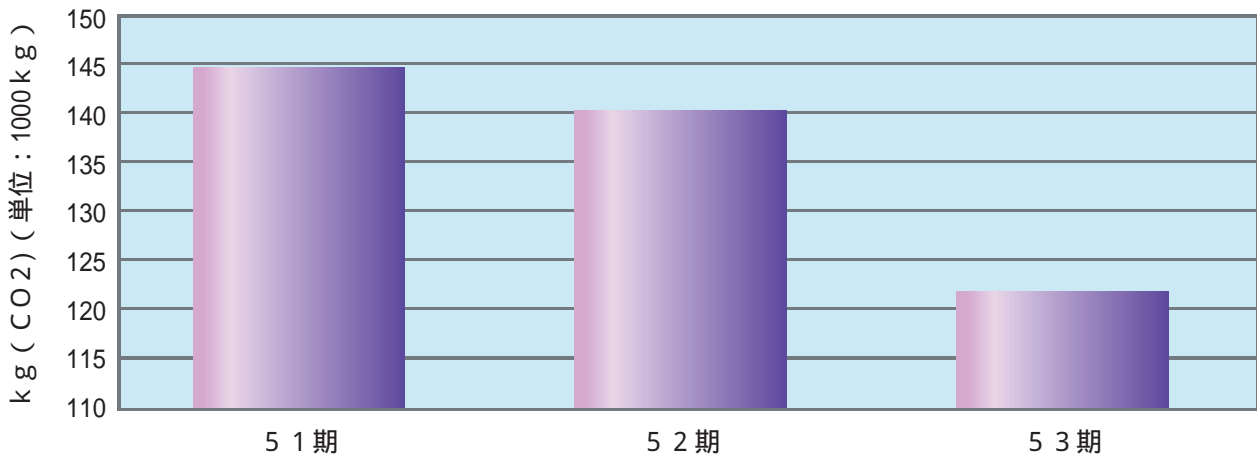


- 2. 電力使用量（オフィス）

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
5 2 期比 3 % 削減	144,574	140,239	121,770	
			13.1%削減	

単位：kg (CO2)

CO2排出量（電力使用による）



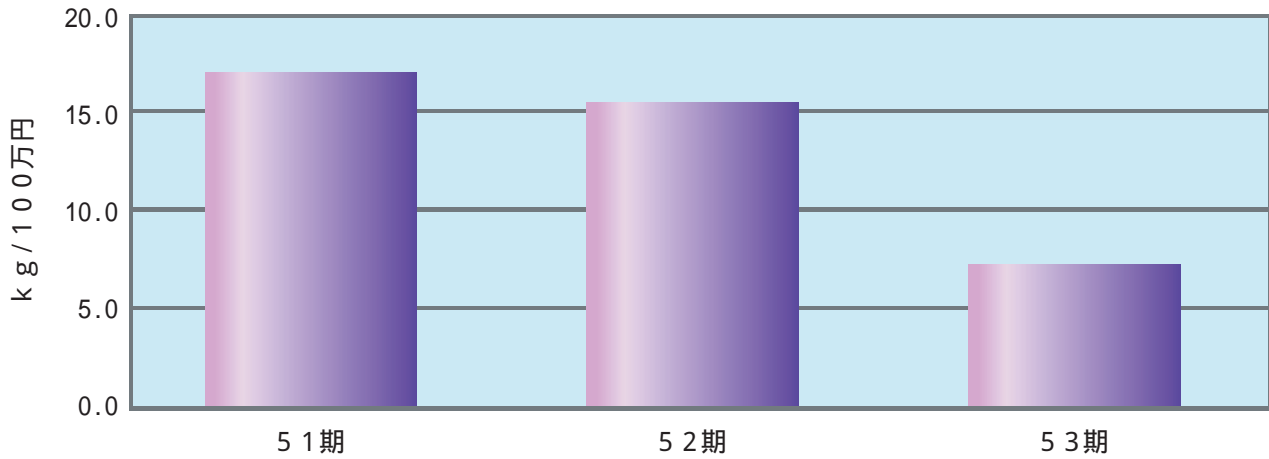
・ 廃棄物排出量（工場）

環境面における取り組み

5 3期目標	5 1期	5 2期	5 3期	目標達成
5 2期比 5 %削減	17.5	15.9	7.4	
			53.5%削減	

単位：k g / 1 0 0 万円（生産額 1 0 0 万円当りの廃棄物排出量）

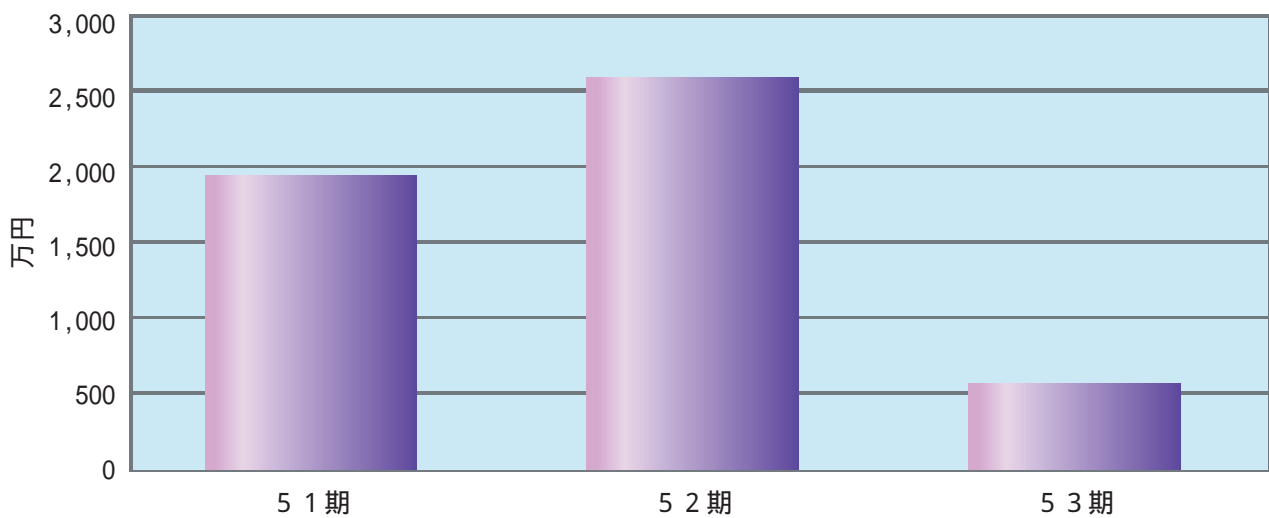
廃棄物排出量



・ 不良在庫金額（オフィス）

5 3期目標	5 1期	5 2期	5 3期	目標達成
5 2期比 3 0 %削減	1,941	2,587	568	
			78.0%削減	

不良在庫金額

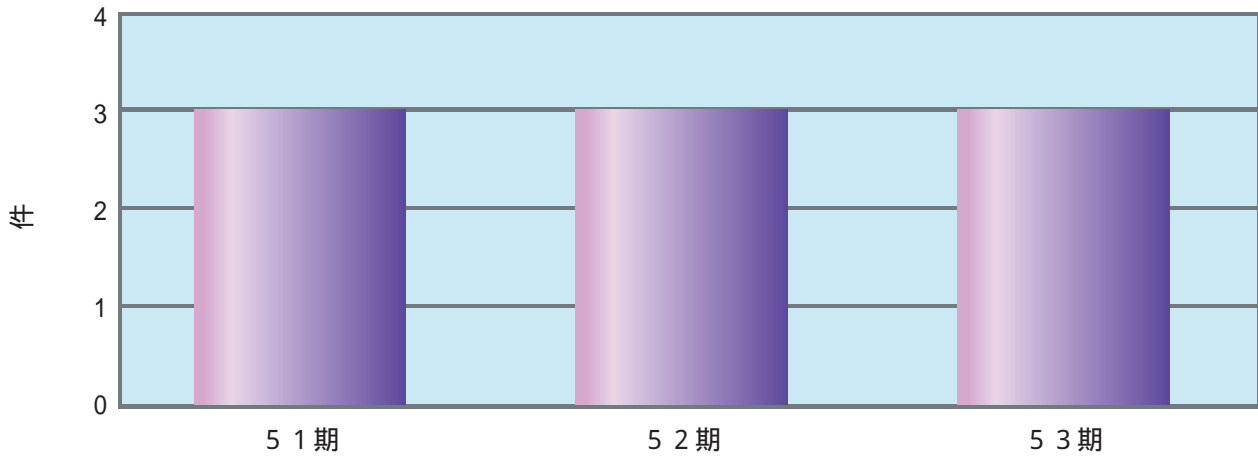


・環境負荷低減商品開発（オフィス）

環境面における取り組み

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
年間 5 件以上の開発	3	3	3	×
			達成率60%	

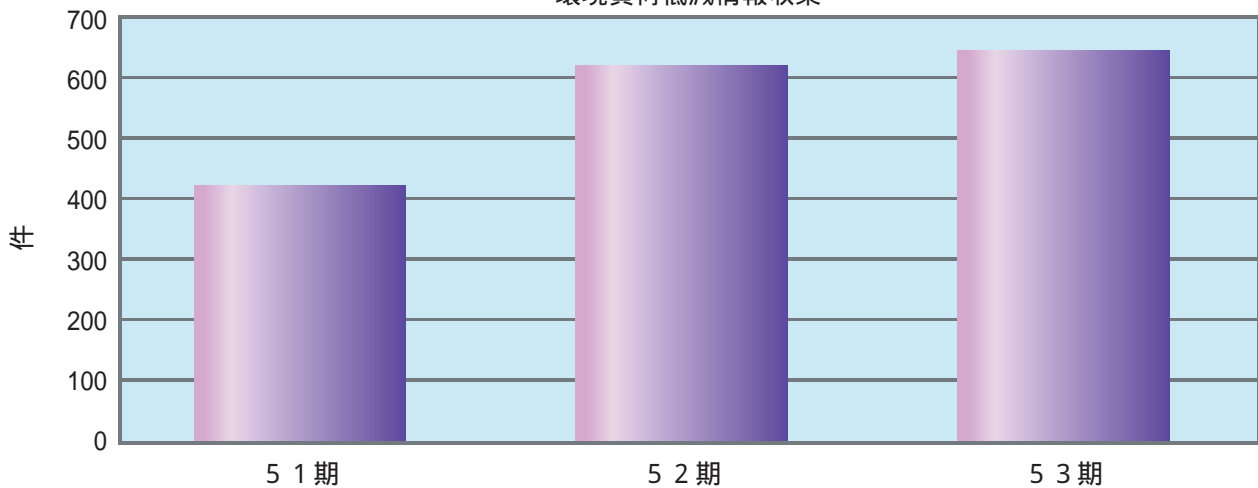
環境負荷低減商品の開発



・環境負荷低減情報収集（オフィス）

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
年間 3 6 0 件以上の情報収集	422	621	646	
			達成率179%	

環境負荷低減情報収集

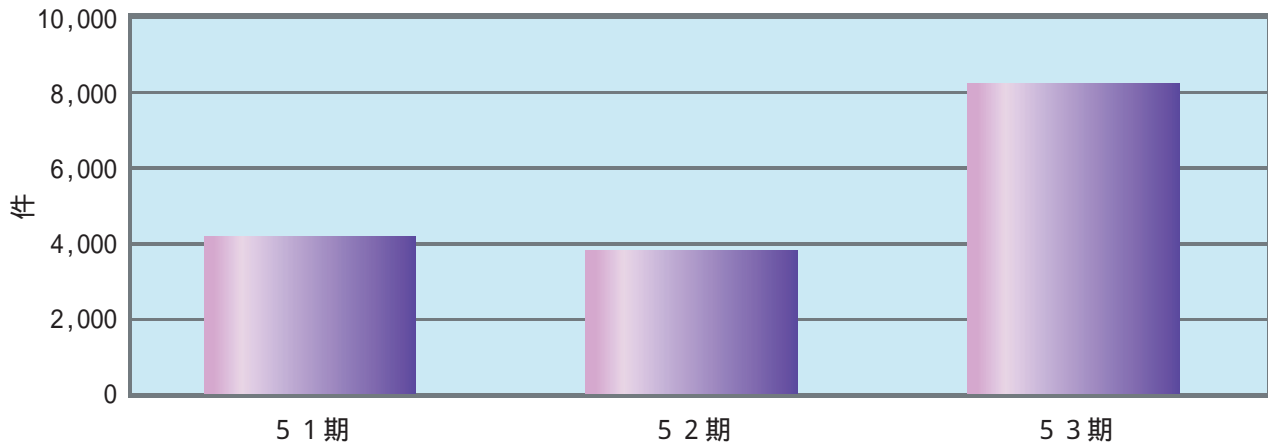


・環境負荷低減情報の提供（オフィス）

環境面における取り組み

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
年間 5 , 0 0 0 件以上の情報提供	4,150	3,774	8,178	
			達成率164%	

環境負荷低減情報提供



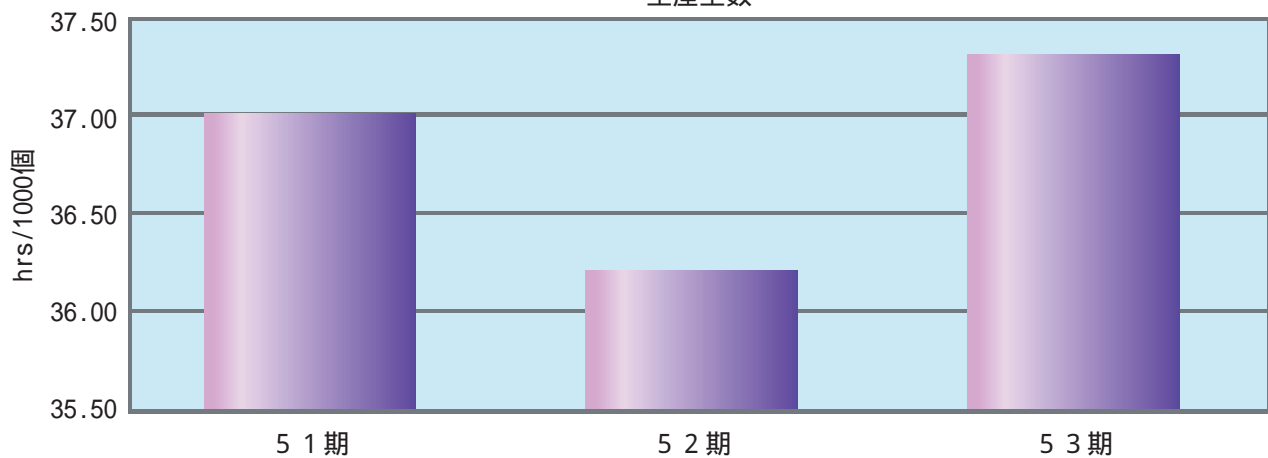
・包装機械稼働効率の向上

（ 1 ）生産工数の向上（栃木工場）

・ 1 号機

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
3 7 . 7 時間 / 1 0 0 0 個以下	37.00	36.20	37.30	
			1.1%削減	

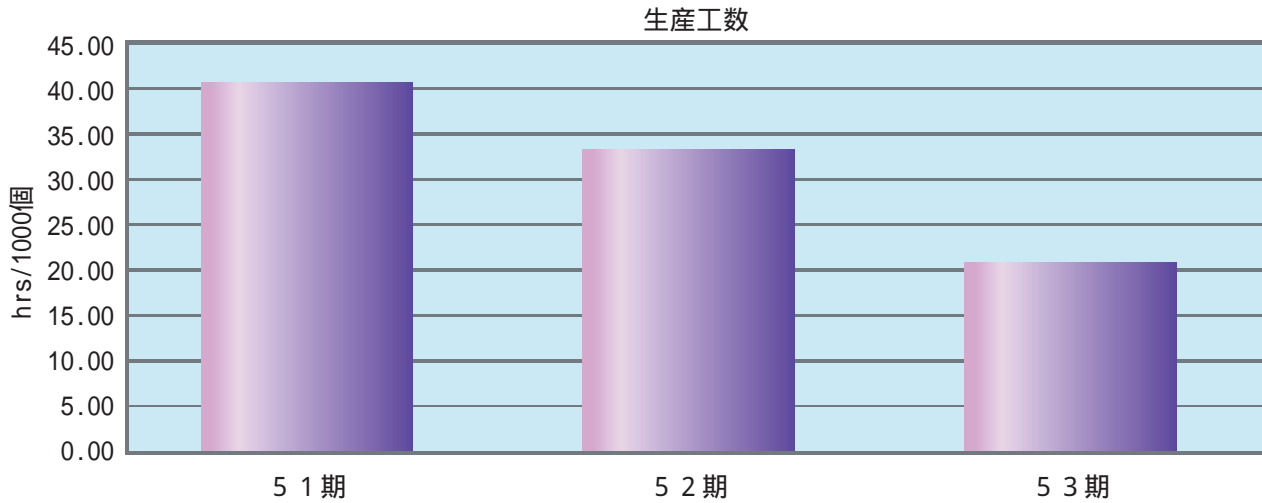
生産工数



・ 2号機

環境面における取り組み

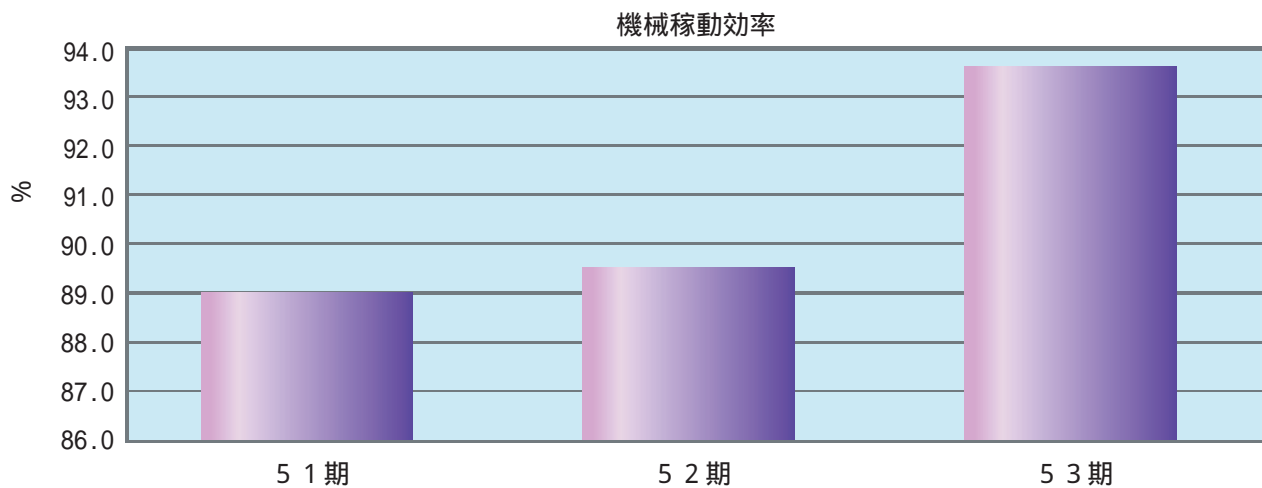
5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
18.4時間/1000個以下	40.62	33.23	20.81	×
			13.1%増加	



(2) 稼働効率の向上 (大宮工場)

・ A号機

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
91%以上	89.0	89.5	93.6	達成率103%



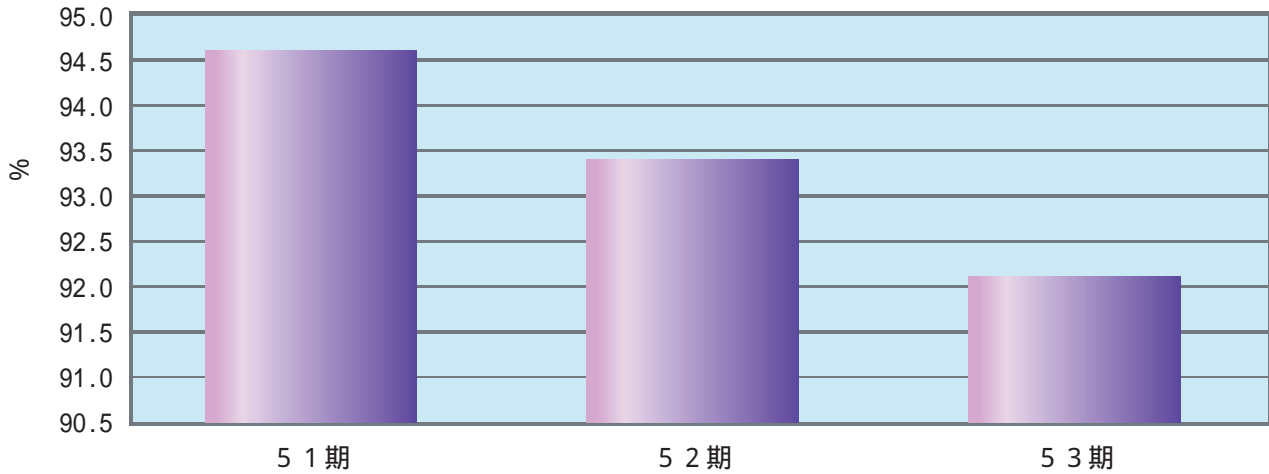
・ 資材収率の向上

環境面における取り組み

1) 1号機用フィルム(栃木工場)

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
9 3 %以上	94.6	93.4	92.1	×
			達成率99%	

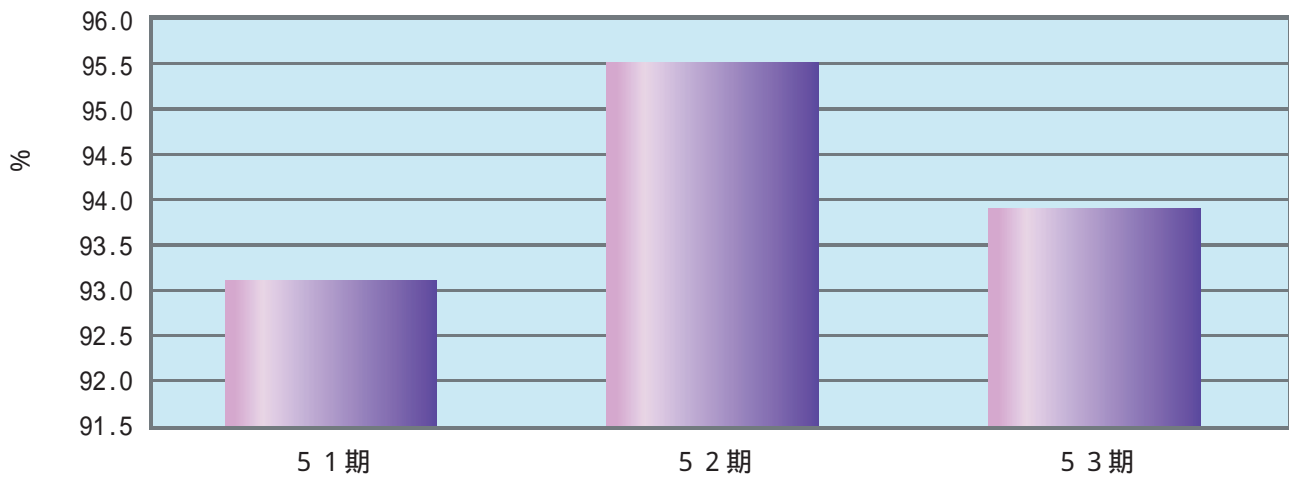
フィルム収率



(2) 2号機用フィルム(栃木工場)

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
9 3 %以上	93.1	95.5	93.9	
			達成率101%	

フィルム収率

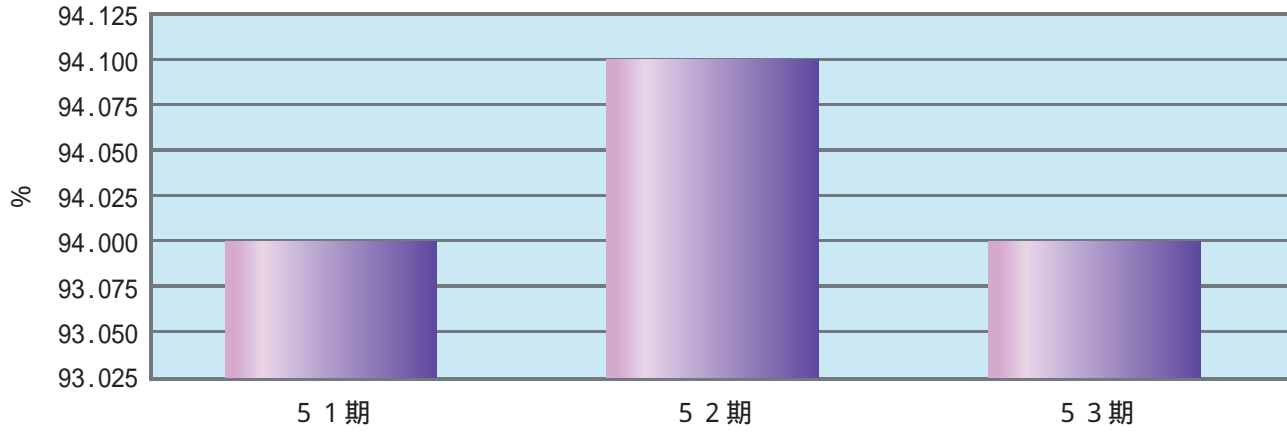


3) A号機用成形材(大宮工場)

環境面における取り組み

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
92%以上	94.0	94.1	94.0	達成率102%

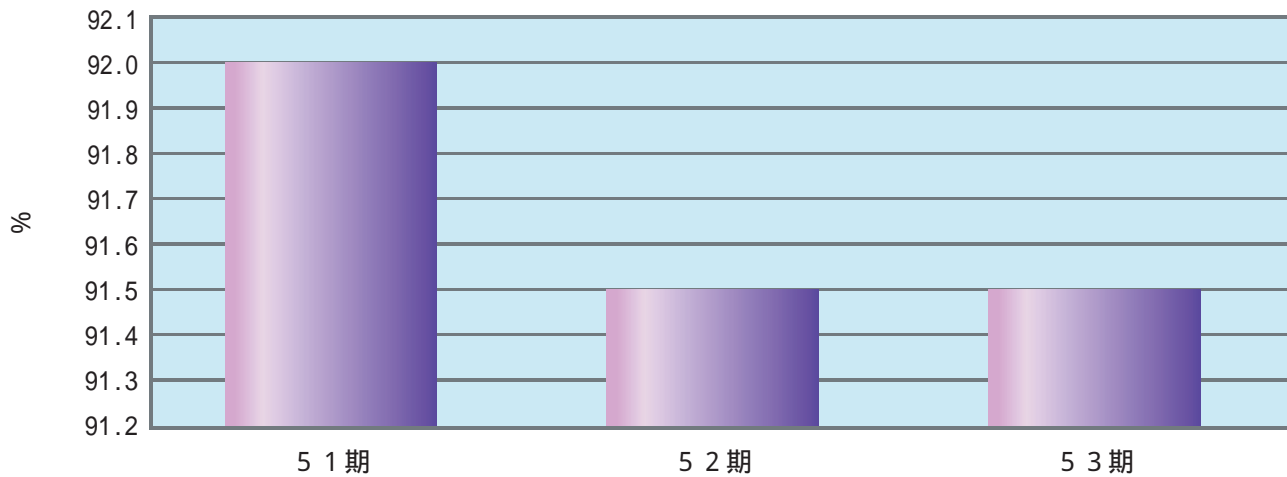
フィルム収率



(4) A号機用シール材(大宮工場)

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
92%以上	92.0	91.5	91.5	×
			達成率99%	

フィルム収率



グリーン購入の推進（工場、オフィス）

環境面における取り組み

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
グリーン購入品目 6 5 %以上	-	-	76.3	
			達成率117%	

温室効果ガス削減活動（営業部門）

5 3 期目標	5 1 期	5 2 期	5 3 期	目標達成
削減量 2 0 0 g / 日以上の人が 8 0 %以上	-	-	95.5	×
			達成率119%	

* 営業部門ではガソリン、コピー用紙、電力使用量を削減することにより温室効果ガスの排出量を削減する活動を実施しました。

各自で削減活動を設定し、目標をクリアできたかどうかチェックしました。

2 0 0 g / 日をクリアできた人が 8 0 % 以上いれば目標達成としました。

・法令順守

法令の順守は社会に支えられてこそ持続可能な企業にとって最低限の責務といえます。

当社に適用される法令はもちろん、関連する法令の順守も常に心がけ、5 3 期も活動しました。当社に適用される環境関連法令は以下の通りです。

廃棄物関連：「廃棄物処理法」

リサイクル関連：「容器包装リサイクル法」、「家電リサイクル法」、「建築資材リサイクル法」

騒音、振動関連：「騒音規制法」、「振動規制法」

水質関連：「下水道法」、「水質汚濁防止法」、「浄化槽法」

その他：「消防法」、「工場立地法」、「フロン回収破壊法」

さらに関連の条例も順守対象となります。環境関連の法規制は世界的な環境保全推進の中で、頻繁に改正が実施されるため改正情報を早急に把握することが必要です。

当社では年 4 回、関連法規制改正の最新情報を調査し、順法の定期評価を実施しました。5 3 期は定期評価の結果、適用される法規制全てにおいて規制順守を確認しました。

ただ 5 3 期に当社に関連した廃棄物の不法投棄問題が発生しましたのでこの件につきまして報告をいたします。

2 0 0 8 年 7 月に廃棄物不法投棄問題が発生しました。千葉県北西で当社名の入った包材、当社と関連があると推測される包材の混入した不法廃棄物が発見されました。

行政の方で廃棄物排出事業者を中心に不法投棄行為者の特定を行いました。排出業者は無関係という結果となり、当社への不法投棄の疑惑は解消されました。

社会面における取り組み

お得意先とのかかわり

当社はお客様先との意思疎通を図るため、種々の活動を行っています。
ここでは53期、特に積極的に取り組んだ活動についてご紹介したいと思います。

1. CS（顧客満足）活動

当社は企業理念・経営基本方針の基軸にある「顧客満足経営・顧客第一主義」の実現イメージをより具体的な表現にしたものをスローガンに掲げ、全社一丸となり、顧客満足を追及しています。

スローガン

【お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる】

当社は顧客満足経営を通じて次の3項目を実践しています。

顧客に満足される品質（商品、受託商品、設備、サービス、社員の資質）向上を図る。
お客様より支持をいただき、選んでいただける質の高い商品、質の高いサービスなどどのようなものかを明確にし、その実現を図っていきます。

顧客第一主義という考え方を組織の末端まで浸透させる。
質の高い商品、サービスに対し各部門での具体的検討、作業を通じて顧客第一主義の考え方をそれぞれの課員全員が理解し、その視点で常に自分の業務を見直し、遂行できる企業風土を培っていきます。

顧客満足活動を通じて社員の力を結集させ、活力ある集団をつくり、縮小均衡からの脱皮を図り、永続的に発展し続ける基盤をつくる。（ES）

顧客満足経営の強化というベクトルの一本化により働き甲斐のある社風を構築するとともに活力ある戦う集団をつくり、飛躍できるカナエをつくり、更なる顧客満足を追求していきます。

お客様のご意見・ご要望をお聞きする機会

- * 営業員による企画提案活動
- * 顧客不満足調査の実施
- * お客様の査察への積極的な対応
- * HP・Ex-Net（お客様専用HP）などによる問い合わせ対応
- * 包装技術開発研究所による共同開発 など

2. 環境負荷低減情報提供

昨年、紹介しました環境関連の情報をまとめたe情報のお客様への提供を53期も引き続き実施しました。53期は目標5,000件/年掲げ、活動した結果、8,178件という実績をあげることができました。

当社の本業務である包装に関係した環境情報を社会に発信していくことは、当社の大きな使命であると考えています。

54期も引き続き、お客様の役に立つ情報提供を積極的に行っていきたいと考えています。



従業員とのかかわり

5 3期は従業員に対して総務部門を中心に安全衛生への配慮、社内報によるコミュニケーションの実施及び従業員のスキルアップのための支援を実施しました。

1．安全衛生

安全衛生への取り組みは本社、栃木工場及び5 3期に竣工した神戸工場の3事業所にて、それぞれ安全委員会を設置して取り組んできました。

その主な取り組みは

- ・ 毎月の活動計画に基づく月次巡視の徹底
- ・ 作業環境測定の実施（騒音、照度）
- ・ ヒヤリ・ハットの推進
- ・ 神戸工場安全衛生委員会の立上げ

でした。

その他の活動として例年実施している消防訓練、産業医の講演、安全運転講習会、応急手当講習会など社員の安全衛生意識向上を啓蒙するための活動も行いました。

さらに社会的に喫緊の課題となっている「新型インフルエンザ対策」にもいち早く取り組み、各種セミナー参加等による専門知識の取得により従業員向けマニュアルの作成、及び事業継続のための計画の整備を進めています。5 4期には新型インフルエンザへの対応は完了の予定です。

2．社内報の定期刊行

5 3期は2 ヶ月に1回、定期刊行し、従業員及びその家族の方々とのコミュニケーションを図りました。

環境に関しても「身近な環境問題」をテーマとして取上げ、啓蒙活動を実施しました。

5 3期に掲載した内容は以下の通りです。

発行月	掲載内容
1月	「消える砂浜・沈みゆく国」 海面上昇が及ぼす影響や実際に海面上昇により直接的な影響を受けている国【ツバル】について記載しました。
3月	「ご存知ですか？カーボンオフセット」 カーボンオフセットによるCO2削減について記載しました。
5月	「グリーンIT」 グリーンITの紹介とその啓蒙を記載しました。
7月	「地域の環境変化と身近な生物について」 カエル、バッタ等の観測データを収集している自治体を紹介し、環境変化のため近年はその数が激減している現状の説明を記載しました。
9月	「ISO14001について」 ISO14001規格のアウトラインについて記載しました。

身近なテーマを選定し、誰にでも理解できるよう平易な表現をしました。

このため各従業員の環境に対する知識もおおいに向上したと思います。

今後とも社内報をツールとした従業員とのコミュニケーションを図っていきたいと思います。

3. 自己啓発活動支援

当社では従業員やその家族も含めて自己啓発制度を設けて従業員のスキルアップを支援しています。この制度は現在の職務に関係なく、従業員本人の将来設計、及び自己啓発を支援していく目的で設立しました。

講座の内容としては英会話、パソコン、会計・税金等実務に活かせるものから階層別の講座、ビジネススキルなど様々です。

具体的には講座受講費用の半額を会社が負担し、自己啓発活動の活性化を促しています。

また、その他に雇用保険から支給される教育訓練給付制度についても積極的に従業員に紹介し、利用の促進を啓蒙しています。

仕事をしながら自己啓発のための学習を行うには本人のやる気と継続しようという意思が必要なため、まだ少数の利用に留まっていますが、今後とも啓蒙活動を継続して実施し、制度の浸透を図っていきたいと考えています。

その他ステークホルダーとのかかわり

株式会社カナエは、環境保全の重要性をステークホルダーに知ってもらうために教育・啓蒙等の活動を継続して積極的に行っています。

2008東京国際包装機械展（東京パック）への出展

昨年の2007 JAPAN PACKに引き続き、2008年10月7日から11日まで、東京ビッグサイトにて開催されました2008東京パックに出展致しました。

環境負荷低減商品を展示し、来場されたお客様に地球環境保全の重要性をPRしました。

インターフェックス ジャパンへの出展

医薬品、化粧品を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム及び技術が一堂に集結する国際的展示会「インターフェックス ジャパン」が東京ビッグサイトにて7月2日から7月4日まで開催され、当社も昨年に引き続き、出展しました。

開発品を中心とした展示を実施し、多くの方に当社の技術をアピールしました。

お取引先様、製造委託先様への環境保全活動実施の啓蒙

53期も52期に引き続き、お取引先様、製造委託先様に対しての環境保全活動推進の啓蒙を実施しました。東京支店では年2回、お取引先様に集まってもらい、環境保全活動の重要性を啓蒙し、環境認証取得を促す活動を実施しました。

品質保証部門では52期に引き続き、お取引先様、製造委託先様の製品の品質レベルアップのための啓蒙教育活動を実施し、品質向上に努めました。

製品品質の向上は不良品の発生を防止し、廃棄物排出量の削減に寄与します。

そのため、この活動を来期以降、継続的に実施していきたいと考えています。

お取引先様運送車、配送委託先様運送車への環境負荷低減の協力要請

生産管理、流通センターでは構内に入出するお取引先様、配送委託先様の運送車に環境負荷低減への協力要請を行いました。

活動の内容としては「アイドリングストップ」の協力要請、「エコカー」導入の協力要請等です。

 今後の活動について

世界的に景気回復が叫ばれてますが、一方、それとは別に我々は地球環境問題に間断なく取り組んでいく責務があります。

少しでも取り組みを中断すると、地球環境破壊はどんどん進行していきます。それ程、地球環境問題は緊急を要する問題となっています。

かけがえのない地球、その地球をきちんと我々の子孫に引き継いでいく、それが現在を生きる我々の最低限の役割であると認識しています。

その地球上で、そして社会に支えられてこそ存立が可能な企業、その企業の活動は地球環境に大きな負荷を及ぼします。その負荷を低減することは企業の重要な社会的責任の一つです。

当社も一企業として「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」という企業理念をベースにこの責任を果たすべく今後も環境負荷低減活動を継続的に実施していく所存です。

その活動の成果は今後とも引き続き、環境報告書にて広く、外部に公開させていただきたいと考えています。

Life care & Produce



株式会社

カナエ

本 社 〒535-0031 大阪市旭区高殿4丁目16番11号
TEL(06)6954-7151(代) FAX(06)6954-7196
東 京 支 店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目11番5号(月星ビル3F)
TEL(03)6566-4811(代) FAX(03)6566-4817
名 古 屋 営 業 所 〒462-0843 名古屋市北区田幡2丁目5-12(黒川ターミナルハイツ305)
TEL(052)915-3371(代) FAX(052)915-3373
富 山 営 業 所 〒939-8208 富山市布瀬町南2丁目10番地14(ウイズ光陽1-A)
TEL(076)492-8708(代) FAX(076)493-0405
包装技術開発研究所 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目2番7号
TEL(078)306-6046(代) FAX(078)306-2845

U R L <http://www.kk-kanae.jp>